

1月 ミーティング記録

日時：2024年1月26日（金） イオンモール京都4Fフードコートにて

出席：TN、TT、(ST)、NH*、YY*、(YH)、(MY)、(RY)、AY、TO *はネット参加、()は欠席

山行報告（12/22～2024/1/26）

CSS：クライミング研究会 SKN：スキーネット

No.	日程	山名	形態	参加者
1	12/23	猪子山・緞山	ハイキング	TO 他1
	当日大寒波で雪の予報だったが、風もなく晴天で絶好の登山日和だった。能登川駅から猪子山へ登りそのまま緞山へ縦走。緞山から五箇荘の街並みを散策して近江鉄道の五箇荘駅まで戻った。			
2	12/24	武奈ヶ岳	PH	RY AY 他2
	雪トレのつもりで入山するもアイゼンの出番なし。御殿山から武奈ヶ岳の間は凍結してるいところもあり慎重に下りる。山頂は風は強いが、大！快晴で展望良し。氷ノ山も見え山の上からだど兵庫も見えるのかと感動。			
3	2024/1/3	比良・釈迦岳（新春山行）	PH	TT TN AY TO 他1
	ヤケ山～ヤケオ山の長い登りではルートがえぐれて付け替えられていた。雨天時は溝のような水路になるので、浸食が激しいのだろう。今年の比良は雪が少なく、釈迦岳山頂付近にうっすらと雪が被っていただけだった。雑煮をいただき、中井新道からP761に向かう。中井新道はその手前から南に折れるが、我々はそのまま尾根を東進する。中井新道はかなりしっかりした踏み跡があるが、この尾根は風化しかかったテープがあるだけの廃道。危険箇所は無く、探索気分楽しく滝川まで下った。			
4	1/6	硫黄岳	雪山PH	RY AY 他2
	美濃戸登山口を出発したのが11時前、赤岳鉱泉についたのが13時と遅くなったので初日の硫黄岳は断念し、アイスクライミングに変更。の予定が、予約で埋まっておりにチャレンジできず。その代り行者小屋までピストン。途中でアイゼンを使った上り下りやピッケルを使つての滑落防止等の練習をする。翌日は硫黄岳へ ガスが晴れてブルースカイに浮かび上がる硫黄岳の全容がはっきり見えたときは感動。山頂は-24℃で凍えそうになりながら写真撮影だけ済ましてすぐさま下山。アイゼンは木道が増える堰提広場から装着。			
5	1/14	貝月山	雪山PH	TN RY AY TO 他1
	今年は雪が少なく、この時期でもある適度積雪が見込め、日帰り可能な山として奥伊吹の貝月山を選んだ。ブンゲンから尾根続きで、金糞岳からも目にするにできた山。冬は曇りの多いこの地方には珍しく絶好の登山日和で、初心者向けのルートということもあって多くの登山者が入山していた。わずかにルートより高所にある小貝月山（こかいづきやま）で昼休憩し、貝月山へ。遠方はやや霞んでいたが、伊吹山・琵琶湖方面から湖北・奥美濃の山々、重なる能郷白山と白山、穂高連峰・乗鞍・御嶽や中ア・南アから濃尾平野まで、360度の素晴らしい大展望が楽しめた。			

山行計画

No.	日程	山名	形態	担当
1	1/28-2/2	北海道大雪山・十勝岳スキー	BC スキー	TT
2	2/10-12	乗鞍岳（県連イグルー講習）	講習	TN
3	2/25-26	大山	PH	TN
4	2/27	大山（AvSAR 雪崩講習）	講習	TN
5	3/3	県連読図講習・県連総会	講習	TN
6	3/9-10	越百山	雪山 PH	TN
7	3/16-18	タカマタギ	雪山 PH	TN
8	3/31	県連読図講習	講習	TN

その他：台湾玉山山行計画不成立につき、事前のリスク抑止の観点から、今後の改善点を確認

次回ミーティング 2月22日（木）19:30～ イオンモール京都フードコート